

Table with 5 columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 所属部, 所属課, 担当名, 予算科目. Includes details for '地域おこし協力隊設置事業'.

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間, ②事業の内容, ③開始したきっかけ. Includes details on the project's duration and objectives.

(2) トータルコスト

Table showing cost breakdown: ①事業費の内訳 (概要), ②延べ業務時間の内訳 (業務の流れ等). Includes a detailed cost table with columns for 21-25 fiscal years and total plan.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table for ① 主な活動 and ⑤ 活動指標. Links activities to specific indicators like '地域おこし協力隊員数'.

Table for ② 対象, ③ 意図, ④ 結果 and ⑥ 対象指標, ⑦ 成果指標, ⑧ 上位成果指標. Links objectives to indicators like '配置地域の人口' and '協力量員とともに地域づくりを考える組織数'.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 事務事業を取り巻く状況, ② この事務事業に関する改革改善の取り組み経緯, ③ この事務事業に対して関係者からの意見や要望. Includes feedback on the project's environment and stakeholder expectations.

事務事業名	地域おこし協力隊設置事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ 地域住民が主体的に地域の課題解決に取り組むことを促す事業であり、「市民が主役のまちづくりの推進」の目的に合致する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 小学校は地域の絆をつなぐ存在にもなっており、その統合は、地域に与える影響が高い。地域が将来にわたり持続可能なものとするは極めて重要であり、行政の支援がなければ地域主体の課題解決は困難である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 小学校が閉校した地域を重点的に支援するものであり対象は妥当である。また、地域が積極的に課題を解決しようとするのが重要であり、これを限定・拡大する余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ 外からの視点(都市人材)が入ることで、地域内での化学反応が期待できる。一方で、全く知らない都市人材を隊員として配置するため、隊員の適正についての見極めが成果向上の大きな要素となる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 該当地域の期待は大きく、本制度を廃止した場合、必要な課題解決が困難になる可能性がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 都市人材を募集し、配置する事業であり、それに対して財政支援のあるものであり、他に類似事業はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用して取り組むものであり、特別交付税措置がある。また、事業費のほとんどが隊員の人件費であり、市の基準に合せたものとしている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 隊員の配置にあたっては、市が隊員と地域との繋ぎ役をしっかりと行い、隊員の良き相談相手となる必要がある。そのため配置地域を担当する地域づくり担当職員をはじめ関係部署の職員は関わっていく必要があり、削減すれば成果発現に悪影響を及ぼす恐れがある。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 小学校閉校と特に過疎化、少子高齢化が進んでいる地域を対象にしている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	定期的(月1回)の協力隊員と関係職員とのミーティングや地元調整を行い、一定の効果があつたと考えられる。本制度が有効に機能するためには、隊員の資質が左右するが、採用時における協力隊員の資質の見極めが重要であると考え。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 【地域】①自分たちの地域の将来像を持つ。②隊員に手伝って(力を借りて)もらい、地域づくりに取り組むという位置づけを確認する。③隊員の配置を望むこと。／【隊員】①地域が何を求めているのかを知る。②協調性とやる気をもつ。③地域の人と交流し、話を聞く中で、得意分野を活かし地域が目指すものに向かって具体的に動きます。／【行政】①地域と隊員との繋ぎ役を果たす。②地域で隊員が頼れる最低3人の理解者を作る。③新聞・テレビなどには地域の理解を得た後に適切な情報を発信する。受入時に確認したこの9つの項目を着実に取り組む。		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・隊員の想いと地域の想いがすれ違ふと、逆効果にも成りかねない。そこをすり合わせ共有する役目を行政が担い、事業の目的に繋げていく。 ・本制度終了後も持続的な地域づくりが図れるよう、本制度期間中に地域自主組織の体制を必要に応じて整え、今後必要な事項を地区計画に盛り込み、地域をあげて取り組んでいける仕組みを構築していく。																									